

NO 1  
平成26年12月3日

大山町議会議長 野口俊明様

議席番号 9番 大山町議会議員 野口昌作



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>(一) 地域の活力創造とり分け大山町の強い農業の推進について</p> <p>本町の基幹産業は農業である、大山の恵みを受けたその美しい田園風景は町の誇りであり、町民の心を癒し安らぎを与えていている。</p> <p>しかし農業を取り巻く情勢は厳しく、今年の米価は一俵当たり約千円下落した。個別補償の金額も半額となった。さらに町特産の白ネギ、ブロッコリーも低価格が続いている。梨も低迷したと聞いている。</p> <p>あえて言えば畜産が安定していたでなかろうか。</p> <p>人口減少、空き家の増加、少子高齢化、後継者不足、厳しい農業など四面楚歌の情勢の中、地域の活力創造を進めなければならない。</p> <p>取り分け本町に必要な強い農業の推進は喫緊の課題である。</p> <p>後継者不足さらに価格の低迷で農業所得が減少し、経営持続を危ぶむ声が聞こえる状況の中で、町長は来年度の予算編成に当たり、大山町の強い農業の推進、そして本町の誇りである田園風景を守るため、どの様な基本姿勢と考え方を持って取り組まれるか所見を問う。</p> <p>また上部機関の政策を取り入れながら、どの様な具体的な施策を予算化する考えか質問する。</p>	町長



## (二) 道路管理について

道路には国道・県道、町道、農道、林道、環境道等がある。町民をはじめとする道路利用者は安全で快適な道路利用ができるることを望んでいる、そして道路管理者はこれに答えなければならないし、行政にはその責務がある。

町は町道、町管理の農道・林道など管理しているが、道路は町内限なく張りめぐらされているので非常に長い管理延長であり、大変な業務量と推察できる。しかし管理は町民のため万全を期してほしい。

私が身近に利用している道路で、激しくバウンドする個所これは橋梁の前後に多い。道路の路肩法面に竹が生えており雪が降ったら竹が道路を覆ってしまうと思われる個所、道路側溝が埋まっている部分、中央線や交通規制のペンキが消えている所、アスファルトが亀の甲羅のようにになっている部分、ポツクスが路面に合っていない個所、その他いろいろと不都合な個所がある。次について質す。

町 長

- ① 町は現在不都合個所をどのようにして掌握しているか
- ② 非常に不具合と感じる個所が治らないことを見れば、掌握方法を考える必要があるでないか
- ③ 不具合と感じる個所が治らないのは、予算面で問題があるでないか
- ④ 国道、県道の不具合部分については、どのようにして掌握し管理者に伝えているのか